



10月 行事予定 ~

【ことわざから学ぶ】

学校祭の準備も大詰めとなりました。授業より、部活より、潮祭のことで頭の中はいっぱいになっていませんか。

さて、2年生のみなさん、学校祭の気運が高まるなかではありますが、中学校第2学年の半ばを折り返した今、次のことわざから「学ぶ」ということについて、考えてみましょう。

「千匹の魚を与えられるより、一匹の魚の釣り方を学べ」

みんなは今、自分に必要な「魚」を、どうやって口に入れているのでしょうか。

親や先生が、毎日いっしょけんめい釣っては、みんなに食べやすいように料理する。みんなは、そうした料理を、ただ口を開けて食べさせてもらっているのではないのでしょうか。

朝起きて、今日は学校があるから、と当たり前のように学校へ行く。黙って教室に座っていれば授業が始まり、先生が教えてくれる。黒板に書かれたことを丸暗記し、テスト用紙にはき出す。そして、90点とれた100点とれたと一喜一憂する。

そういう「勉強」とは、まさに「千匹の魚」を与えられているに過ぎないということなのです。それでは、みんなが自分の長い人生を生きていくための、本物の「学力」が得られるはずがありません。

そして、いつまでも開いた口に、魚を運んでくれる人がいるとは限らないのです。あと10年もして、一人前の大人になれば、いくら口を開けていても、だれも魚を入れてはくれません。自分で求め釣ってこなければ、「一匹の魚」ですら口には入らないのです。

では、「一匹の魚」の釣り方を学ぶには、どうしたらいいのでしょうか。大切なことは、自分に必要な魚を釣ろうとする意欲と、どうしたら釣れるかという技術を学ぶことでしょう。自分に必要なものを、自ら求め、自分自身の頭と体を使って獲得できるようにする。そのことが、真に「学ぶ」ということなのです。

千匹の魚をおうちの方や先生から釣ってもらい、料理してもらい、開けた口の中へ運んでもらって大きくなる学力よりも、自ら魚のいる場所をさがし、自分の足でそこへ行き、試行錯誤で基本を身に付け、工夫し、忍耐・集中・体力を駆使して一匹の魚を釣り上げる。釣り上げた喜びや感動を体いっぱい味わう。友達のがんばりに拍手する。教えてくれた親や先生に感謝の気持ちをもつ。そして、さらに大きなもう一匹の魚に挑戦する。そういう学力こそ、みんなが生涯にわたって生きていくための真の学力なのです。

「一匹の魚の釣り方を覚える」ことで、人は生涯にわたって、自分が生きていくために必要な知識や技術を、必要に応じて得られるようになるのです。

自分の、一度きりの大切な人生をどう生きるのか。そういう見方で、中学生としての学習を考えてほしいと思います。

日	曜	内 容
3	月	朝会
4	火	
5	水	中間テスト 登校指導
6	木	ALT
7	金	
9	日	内海地区町民体育祭 8:00町民グランド 【雨天】：月①~⑤(弁当持ち)
10	月	体育の日(祝)
11	火	代休 学費振替
12	水	
13	木	ALT 芸術鑑賞WS9:30~
14	金	45分授業
17	月	朝会
18	火	45分授業
19	水	45分授業
20	木	45分授業
21	金	45分授業 潮祭準備⑤⑥
22	土	潮祭(弁当持ち) 雨天:23日午前と入替
23	日	潮祭(弁当持ち)
24	月	代休
25	火	代休
26	水	東京フィルコンサート11:45~
27	木	ALT 家庭教育教室(プリザーブトフラワー)
28	金	航空写真10:00~ 芸術鑑賞13:30~
31	月	朝会



※ ①や⑥などは、授業時間を表します。

弁当の準備よろしくお願ひします

9日(日) 内海地区町民体育祭  
22日(土) 潮祭  
23日(日) 潮祭 の3日間です。

《 まずは・・・中間テスト! 10月5日 》

①国 ②社 ③英 ④理 ⑤数

テスト後の潮祭を気持ちよく楽しむためにも、自分なりに納得のいく結果を出せるようがんばりましょう。

テスト範囲表をしっかりと見て、提出物の確認もしっかりしておきましょう!